

## ⑨ コミュニティが大切にされる社会

### 20年後に実現したい姿

#### 【人と人の絆、地域コミュニティが大切にされる社会】

●人と人がつながり、地域コミュニティ相互あるいは行政・NPO・企業等の多様な主体との連携・協働により、温もりとやさしさにあふれる地域社会が実現しています。

#### 【移住したいまち京都府の実現】

●移住希望者にとって、京都府が住んでみたいまちとなり、多くの方が京都府に移住し、移住者の中から地域コミュニティを支えるリーダーが現れています。

#### 【過疎・高齢集落等であっても地域資源の活用と交流により「キラリと光る」地域が創造】

●過疎・高齢集落や農山漁村であっても、営農環境や集落活動、地域の行祭事などが維持されるとともに、観光事業者や商店街などとの連携による地域ビジネス等により、希望と活力に満ちた「キラリと光る」地域となっています。

### 4年間の対応方向・具体方策

多様な主体の連携・協働によりネットワークを構築し、地域の課題に対応した住みやすい地域づくりを進めます。

- 1 「地域交響プロジェクト」による助成や施策推進のためのプラットフォームの構築
- 2 他府県居住の京都府出身者や大学生等で京都ファンのネットワークを構築し、地域を支援
- 3 地域活動への社員の参画等地域課題の解決に寄与する企業を表彰し、地域と企業の連携を強化
- 4 小中学生をはじめ、それぞれの世代が、地域コミュニティの大切さに触れ、学ぶ機会を創出
- 5 大学生と地域活動団体とのマッチング支援により、地域コミュニティの再生と交流人口を拡大
- 6 交通空白地の移動手段確保のため、住民組織やNPO等が運営主体となる自家用有償旅客運送の支援
- 7 京都動物愛護センターや保健所における動物愛護や適正飼養、終生飼養に関する普及啓発の実施

移住希望者に対して相談から定着までを一貫してサポートし、多様な農山漁村を守る次代の担い手を確保します。

- 8 「京都府移住推進プラットフォーム（仮称）」を構築し、移住から地域定着までの一貫サポート体制を強化
- 9 移住者と地域とのミスマッチを防ぐため、地域の魅力や将来像などを地域自ら発信する取組を推進
- 10 移住希望者の「住」への不安解消と、府内産木材を活用した住まいづくりなどにより移住者を拡大

農山漁村における生活やなりわいを支え、将来にわたって持続させる仕組みとして、多様な主体や人材と協働するコミュニティを構築します。

- 11 地域商店の存続確保からビジネスおこしまでトータルマネジメントを行う「持続可能な農山漁村コミュニティ」を府内各地に創出
- 12 里の仕事人等の伴走支援、都市住民等外部との連携によりスキル・人材などをマッチングする農山漁村のサポート体制の構築
- 13 ICT活用による、高齢者の買い物等の支援や鳥獣被害対策など協働作業の効率化を促進